

2013年12月期(第35期)
第2四半期決算説明資料

2013年8月8日

① 株式会社 小田原エンジニアリング

2013年12月期第2四半期(累計)業績概要(1)

<経済の動向>

① 我が国の経済

- ・経済政策や金融政策の効果により、円安や株高が進行
- ・企業収益の改善が家計所得や投資の増加につながる
- ・景気の持ち直しが着実

② 世界経済

- ・(中国)景気拡大のテンポが緩やか
- ・(米国)緩やかな景気回復傾向
- ・(欧州)景気が弱い動き
- ・(全体)弱い回復が続いた

2013年12月期第2四半期(累計)業績概要(2)

<ODAWARAグループの活動>

- ① 国内外で積極的な営業活動を展開
- ② 幾つかの案件の売上が第3四半期以降にずれこむ
- ③ 売上高が減少したものの原価は概ね順調に推移
- ④ 研究開発や新社屋の諸費用等の支出はあるが、経常利益、四半期純利益は、
ほぼ計画どおり
- ⑤ 連結業績の概要
 - ・売上高 1,937百万円(前年同四半期比35.4%減)
 - ・営業利益 179百万円(前年同四半期比52.1%減)
 - ・経常利益 237百万円(前年同四半期比41.8%減)
 - ・四半期純利益 143百万円(前年同四半期比38.8%減)

経営指標等の推移(連結)

| | 2009年第2 四半期累計 | 2010年第2 四半期累計 | 2011年第2 四半期累計 | 2012年第2 四半期累計 | 2013年第2 四半期累計 |
|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 売上高 (百万円) | 1,804 | 2,143 | 2,417 | 2,999 | 1,937 |
| 経常利益 (百万円) | 121 | 358 | 477 | 408 | 237 |
| 四半期純利益 (百万円) | 59 | 182 | 259 | 235 | 143 |
| 純資産額 (百万円) | 7,075 | 7,173 | 7,449 | 7,718 | 7,866 |
| 総資産額 (百万円) | 8,205 | 9,353 | 9,783 | 9,908 | 9,734 |
| 1株当たり四半期純利益 (円) | 10.03 | 31.03 | 44.26 | 40.21 | 24.60 |
| 売上高経常利益率 (%) | 6.7 | 16.7 | 19.8 | 13.6 | 12.3 |

業績推移(連結)

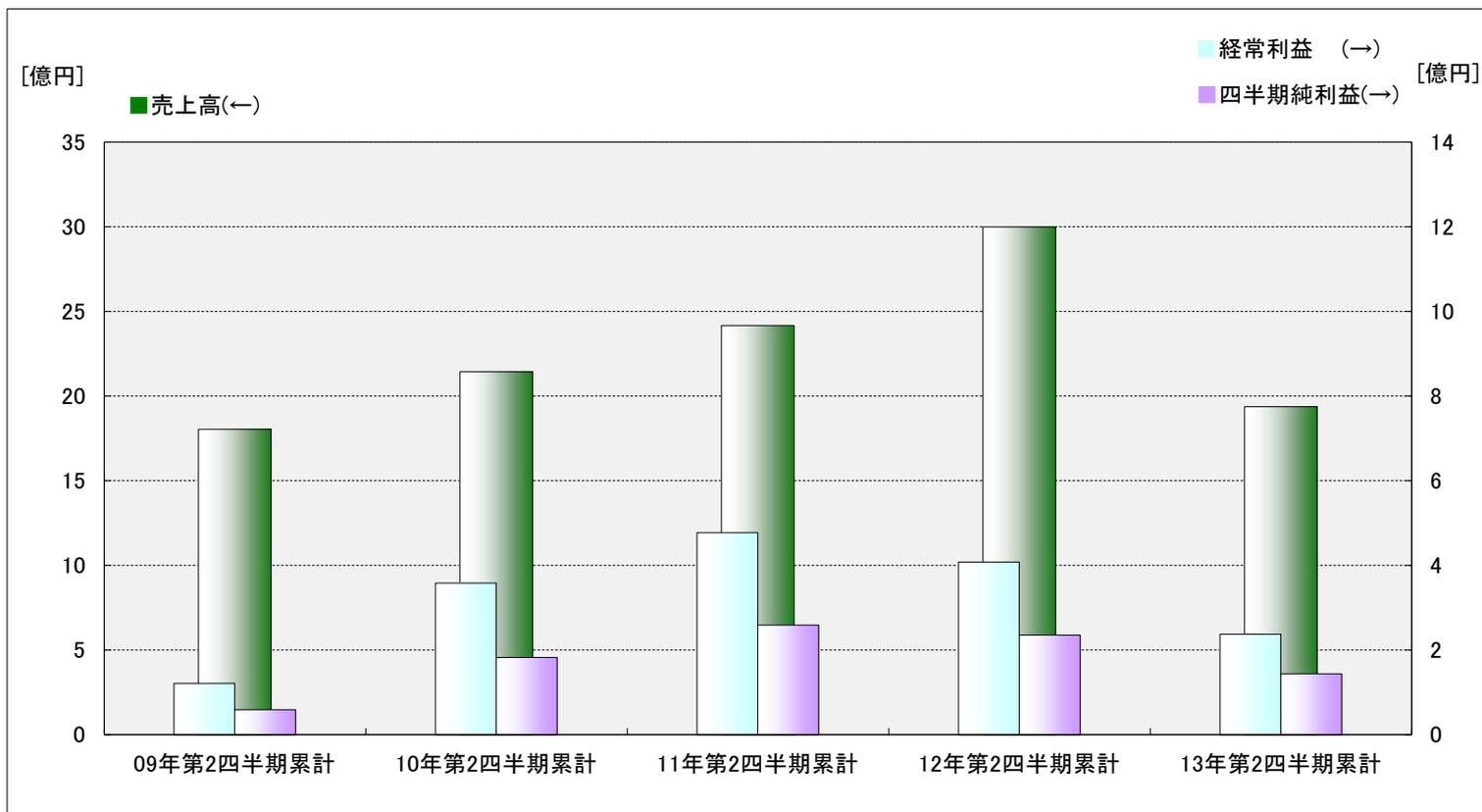
2009年 : 年前半の受注低調が業績へ影響

2010年 : 過去最高の受注高、受注環境・生産活動とも順調

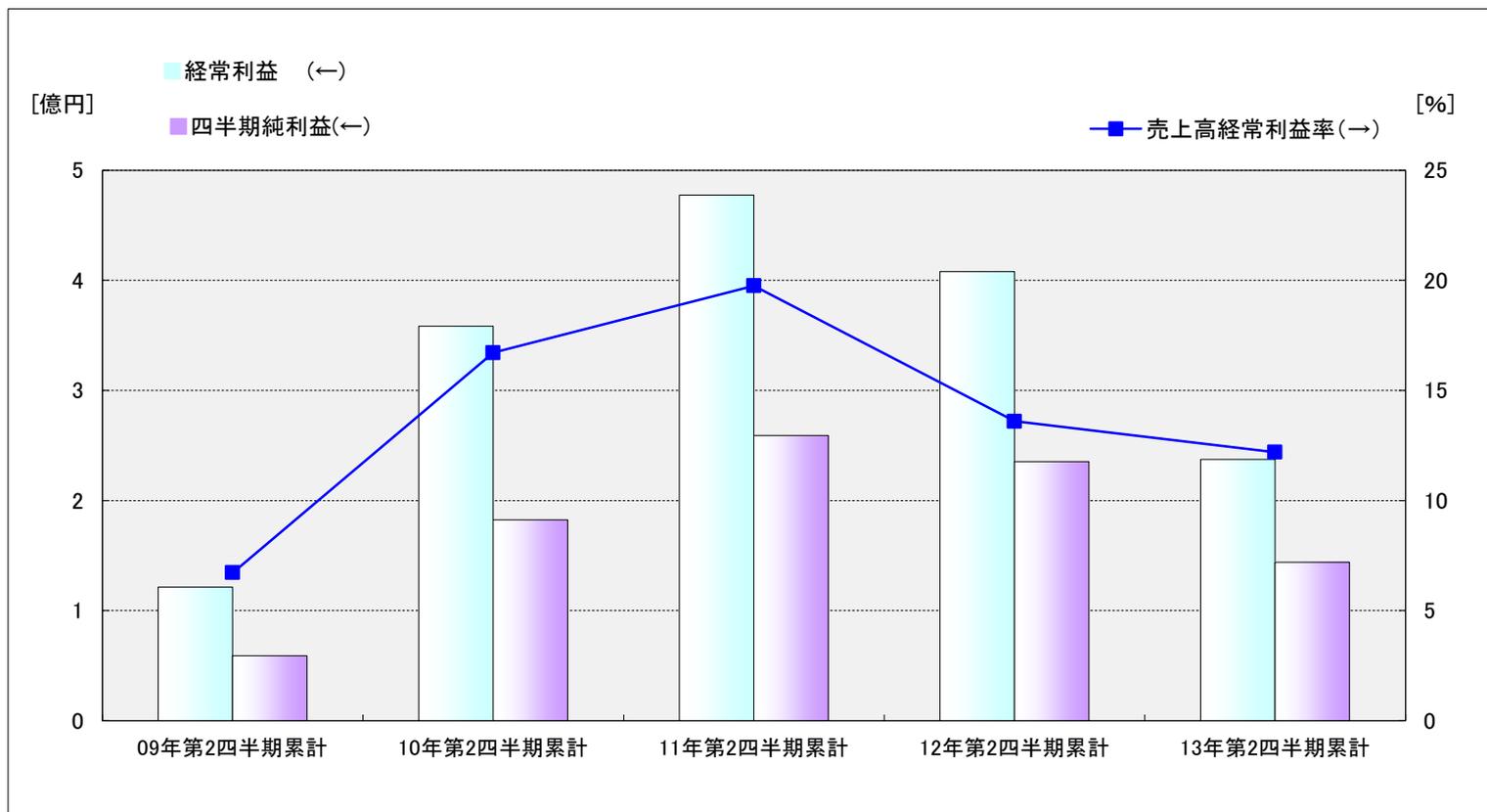
2011年 : 売上高は好調に推移、原価低減も図れた

2012年 : 個別売上高が過去最高を記録、開発要素の高い大口案件が原価率を押し上げ、厚生年金基金脱退損失引当金を計上

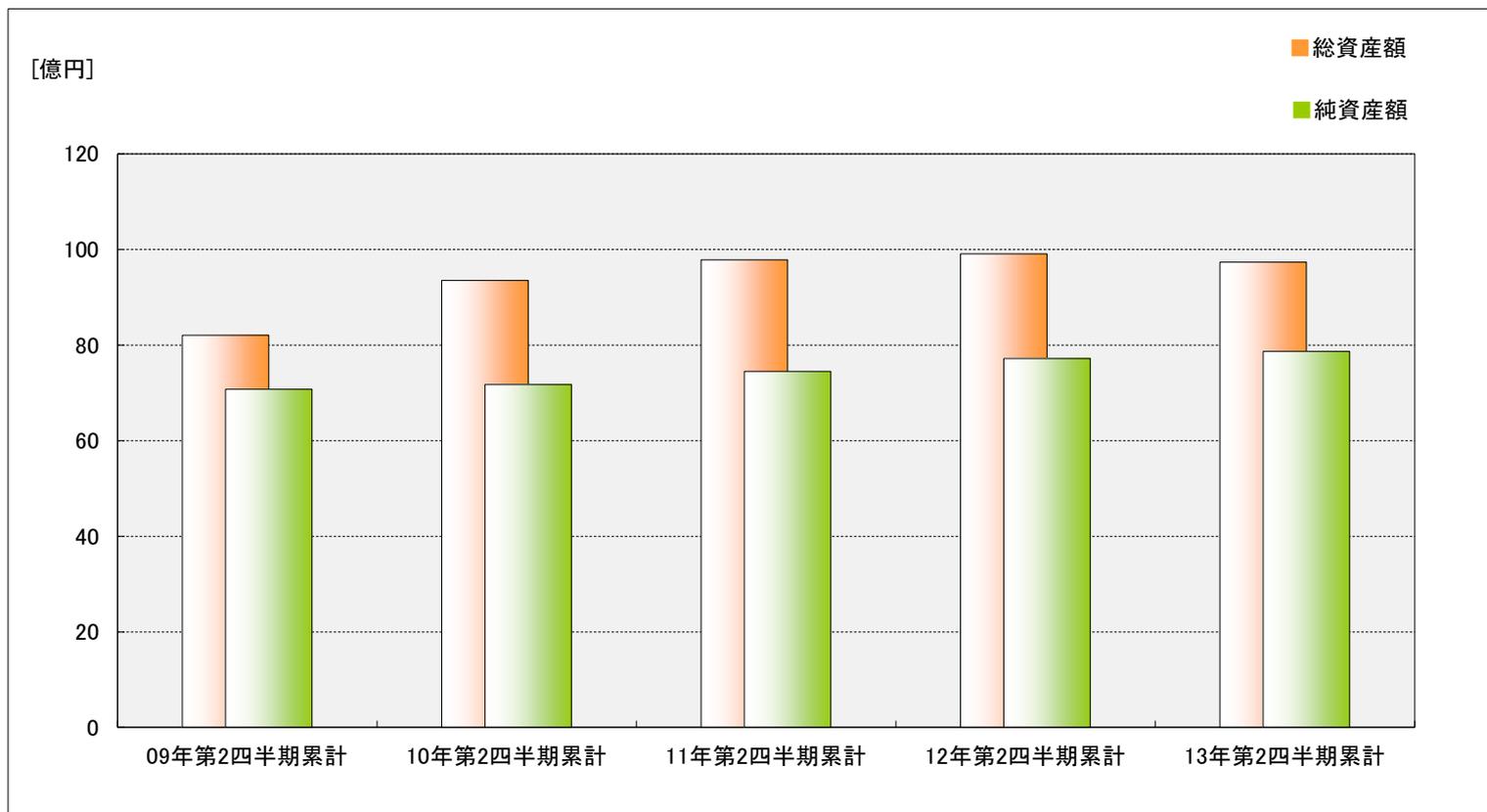
2013年 : 幾つかの案件の売上が第3四半期以降にずれこむ、売上高が減少したものの原価は概ね順調に推移



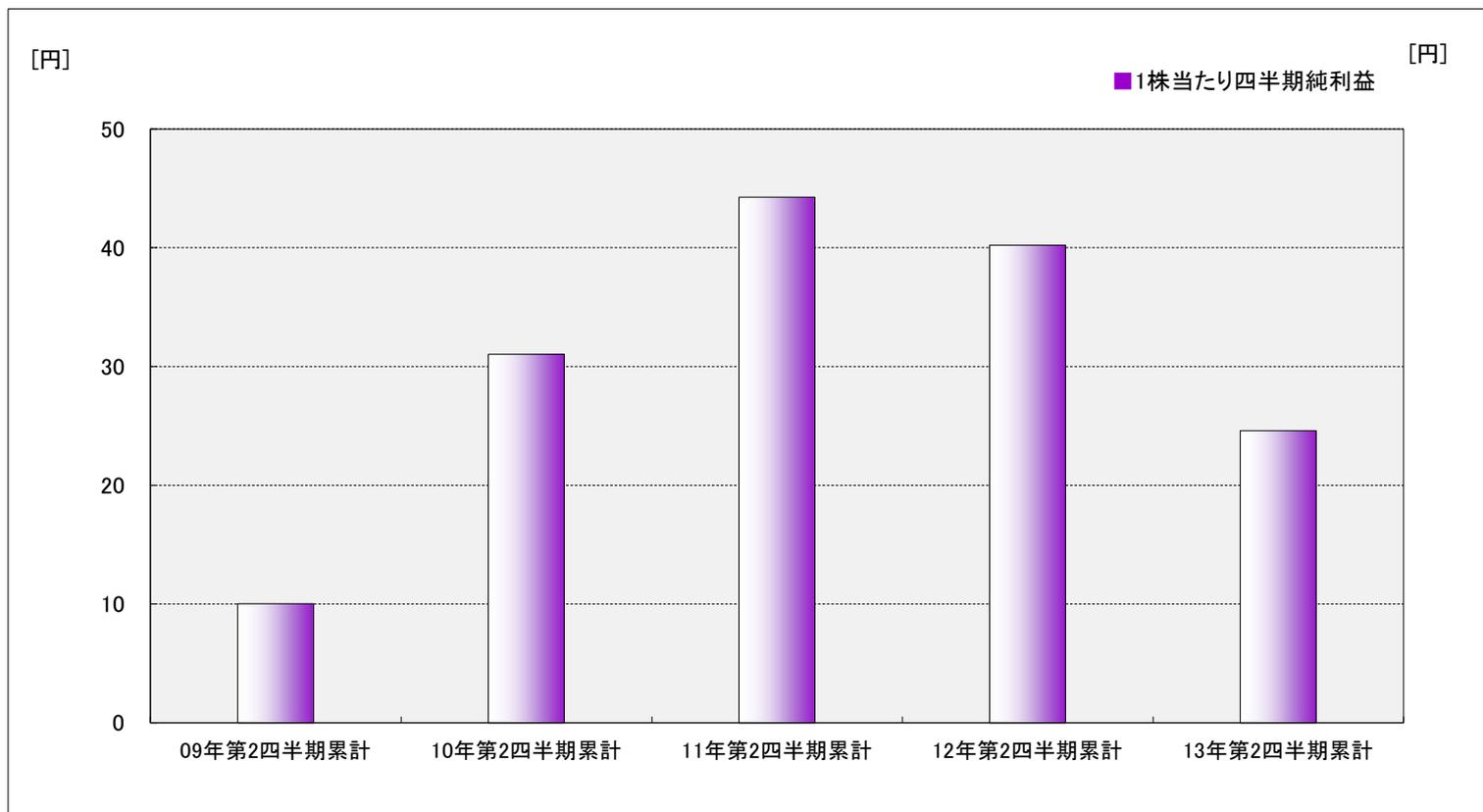
經常利益・四半期純利益 ・売上高經常利益率(連結)



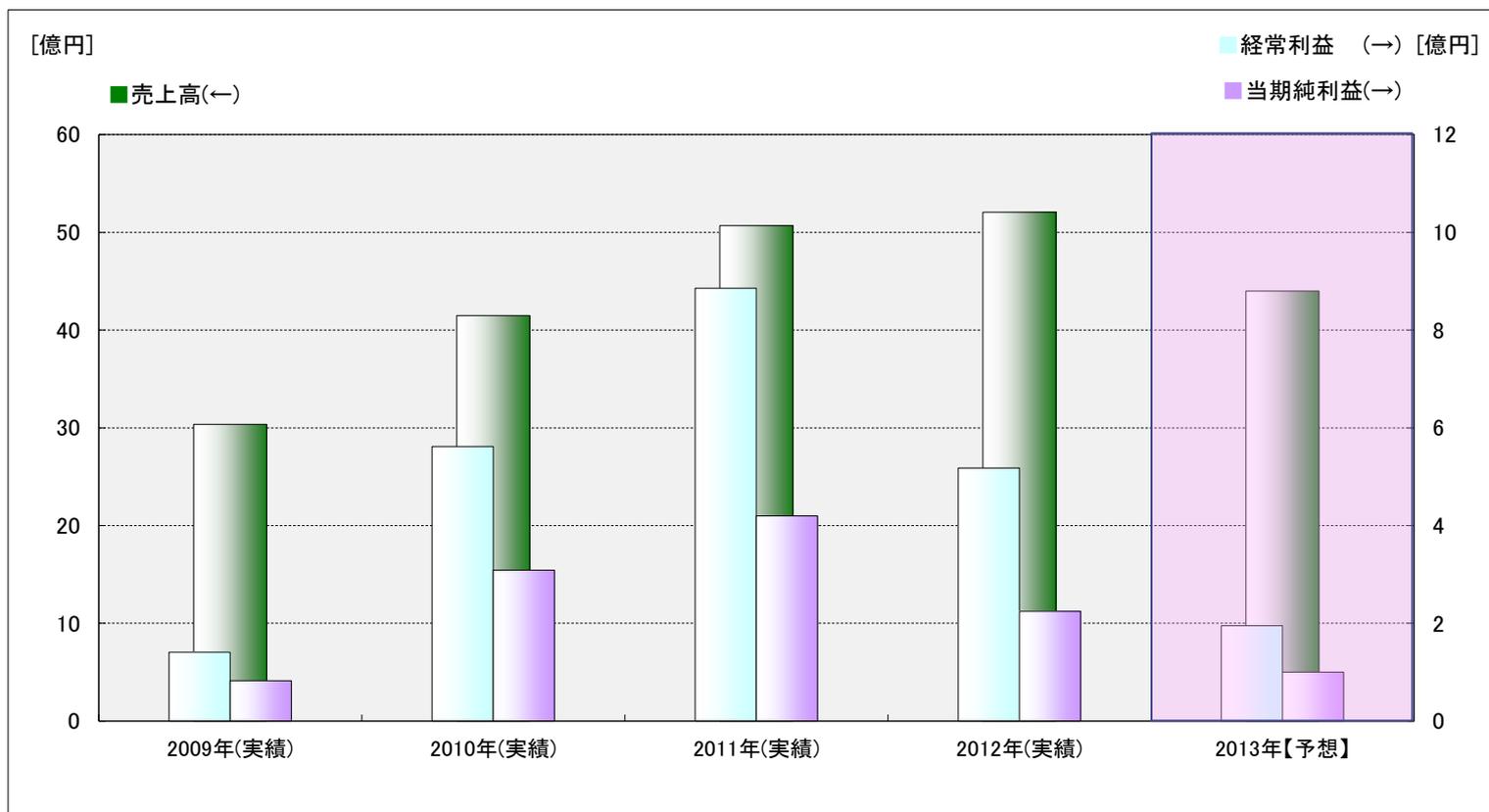
総資産額・純資産額(連結)



1株当たり四半期純利益(連結)



業績予想(連結)



決算説明資料について

本資料に記載されている業績予想等については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社グループが判断したものでありますが、今後の様々な要因の変化により、将来の事業を取り巻く環境が大きく変動することがあります。

従いまして、将来の業績等につきましては、実際の業績等とは異なる場合がありますのでご了承ください。

株式会社小田原エンジニアリング